

たんぽぽ

「たんぽぽや いくたび踏まれて きょうの花」



八南小学校 校長室だより

令和6年 6月17日 (月)

暑さが厳しくなっています(熱中症対策)

先々週ぐらいから、暑さを強く感じるようになってきました。先日、八幡の児童が登校する学校西側で登校指導をしていましたが、朝から日差しが強く、子どもたちの足取りはいつもよりも、ゆっくりとしていて、汗を多くかきながら歩いている子もいました。学校近くに来る時間も、全体的に遅い気がしました。学校では、すでに教室内で冷房を入れており、少しでも過ごしやすく、授業に集中できる環境をつくっています。今後、さらに暑さが厳しくなっていくことが予想されます。熱くなってくると、熱中症など、子どもたちの体調面への影響が心配です。熱中症を防ぐための方法として、暑さ指数(WBGT)を測定し、この指数によって行動を制限していくことがあります。学校では現在、朝から定期的に、運動場、体育館などの場所でWBGTを測定しています。WBGTの値によって次のようにしています。



警戒 (25℃以上 28℃未満)「運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる」

厳重警戒 (28℃以上 31℃未満)「外出時は炎天下を避け、室内では、室温の上昇に注意する。原則、活動時間の短縮または中止を検討」

危険 (31℃以上)「外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。屋内外で身体を動かす活動→原則、中止を検討 屋内の活動→原則、内容の変更もしくは中止を検討」

33℃以上の場合は、活動を中止する

学校では、このように対応し、子どもたちの健康に十分配慮していきたいと思っています。ただ、心配なのは登下校中です。暑さが厳しいとき、登下校中は**「途中、できるだけ涼しいところで休養を取る」「マスクははずす」「水分補給をこまめにする」**ように指導をしたいと思います。また、途中で気分が悪くなったときは、**「家や学校に引き返す、110番の家やお店、民家に入り、大人に助けを求めたり、休養させてもらったりする」**ように話をしていきたいと思います。ご家庭でもお子さんに登下校中の対策について話をしていただけただけなら幸いです。また、お時間があるときは、子どもたちの登下校を見守っていただき、お迎えに来たり、一緒に付き添ったりしていただければと思います。

日傘の使用については、ご家庭の判断にお任せします。ただ、登下校中、日傘をさす子、ささない子が一緒に歩く場合、傘の骨が目に入るなどのケガが心配です。特に市田、野口方面は歩道橋を使用し、歩道橋付近で大変混雑しますので注意が必要です。傘を使用しないときに、つい傘を振って遊んでしまったり近くにいる子に当たってしまうなどの事故も気になります。

そこで、日傘を使用する場合は、以下のようにします。

○班の後ろを一行で歩く。

○歩道橋では傘を閉じる。

○下校の集合時には、傘を開かない。

日傘を使用する場合は、ご家庭でも使い方についてお子さんに話をしていただけたらと思います。

また、暑さの状況を見ながら、昨年度と同様に、「リュックでの登下校」もよいことにしていきたいと思っています。学びポケットでお知らせしますので、学びポケットでの連絡を毎日ご確認ください。

「教育とは……」

最近目にして、改めて心にとめておきたいと共感できた言葉を紹介します。

「教育とは子どもを自分の脚で歩けるようにしてやること」

子どもが自分なりに考えて決定したこと。大人が「多分こうなるだろう」と先が予測できたとしても、子どもが自分で結果を受け入れ、納得できるように、とにかくやらせてみてあげたいですね。